

特集コンテンツ

最新プレスリリース

受賞・表彰

イベント情報

リガクル

理学部ニュース

2011/11/24

11/24 国立天文台家正則教授が紫綬褒章を受章

国立天文台の家正則教授(本学天文学専攻兼任)が、紫綬褒章を受章され、優れた業績を挙げられて、学術の進歩に寄与されたことによる受章です。誠にか先生業績は多岐にわたりますが、そのうち「最遠方銀河の発見と宇宙再置の開発」については、東レ科学技術賞を受賞されたおりにご紹介しました(望遠鏡建設に関する業績をご紹介したいと思います)。

1960年に完成した東京大学東京天文台188cm望遠鏡の後継機として、1990年代後半に検討されました。ところが、このような大きな望遠鏡の鏡を従来のように分厚の円盤の振動を論じたご自分の学位研究の手法が、丸い鏡の変形制御にも、鏡の可能性を検討されました。能動光学と呼ばれるこの方式は、1980年代後半に制御できることが実証され、すばる望遠鏡に採用されることになりました。その望遠鏡として、世界の天文学者から極めて高い評価を得ています。

(文責:天文学専攻・教授 林 正彦)



家正則 教授

--東京大学大学院理学系研究科・理学部 広報室--

[教職員公募](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトポリシー](#)

© 2002-2012 東京大学 大学院理学系研究科 広報委員会 〒113-0033 東京都